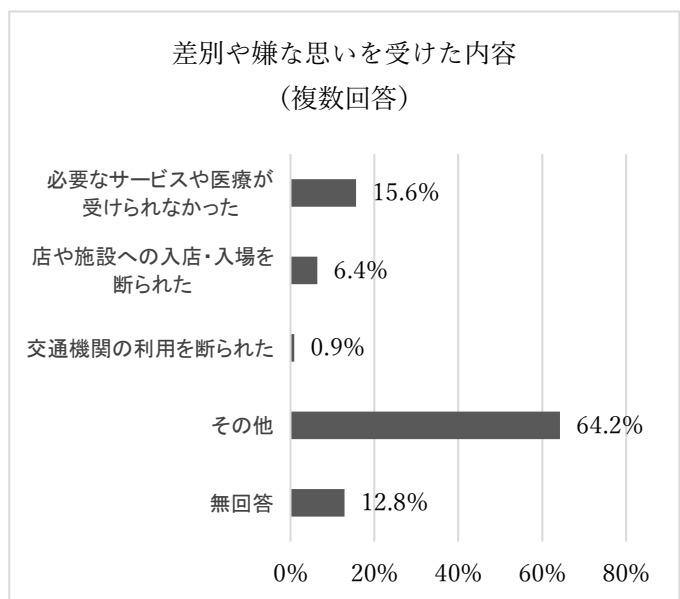
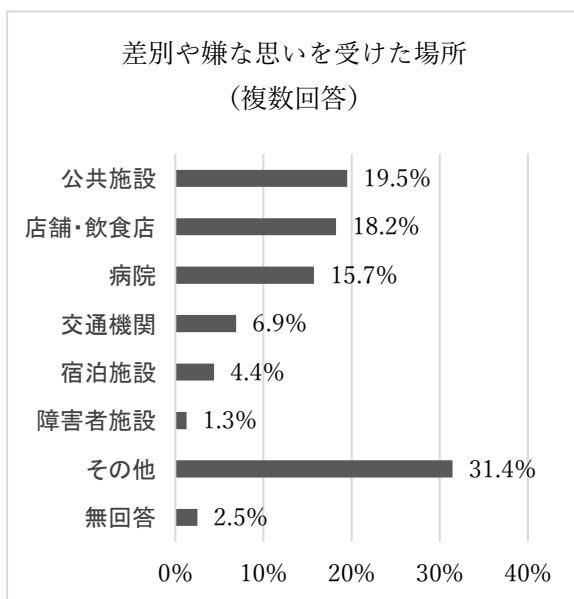
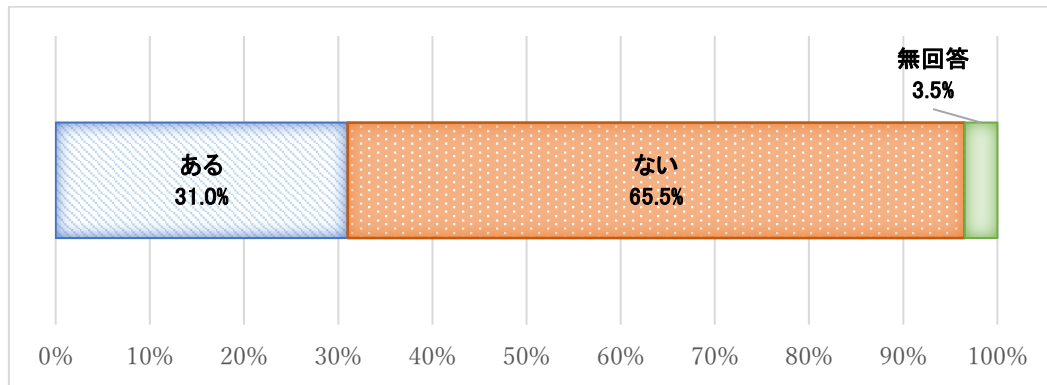


ニーズ調査アンケート結果の概要

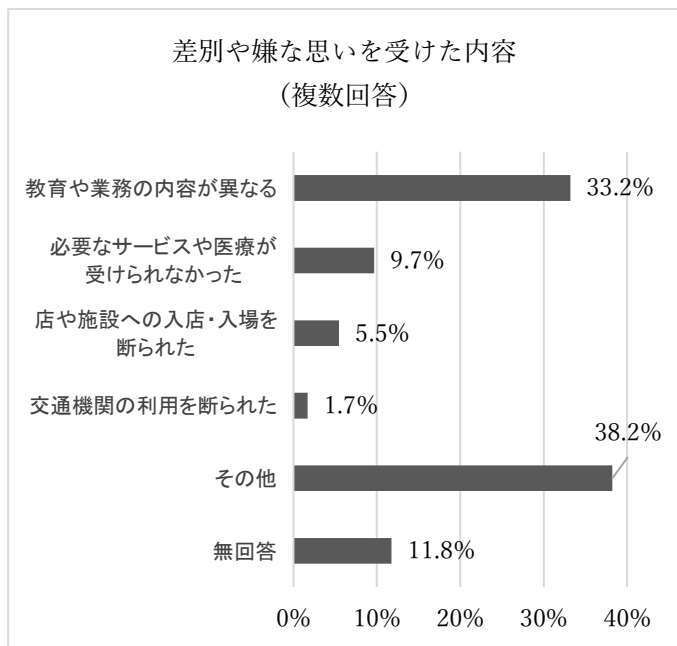
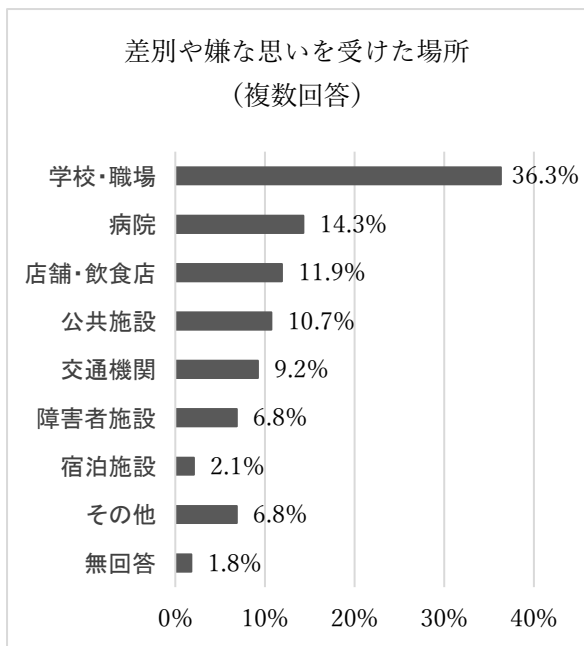
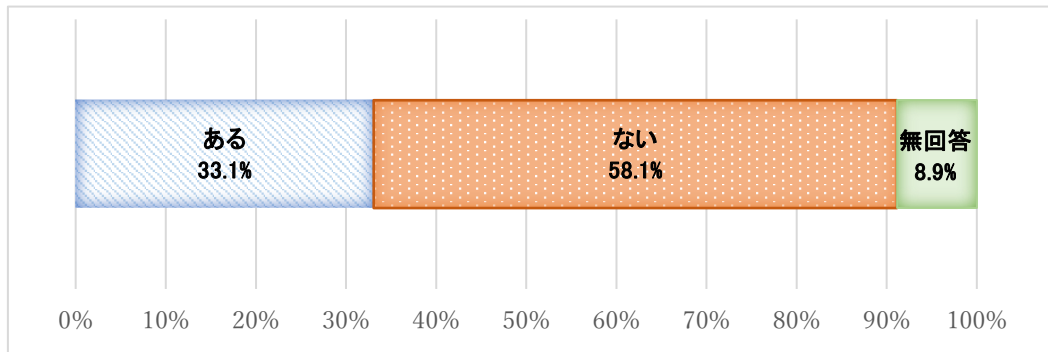
【障害があることで差別や嫌な思いをしたことがあるか】

◆18歳未満（n=345人）



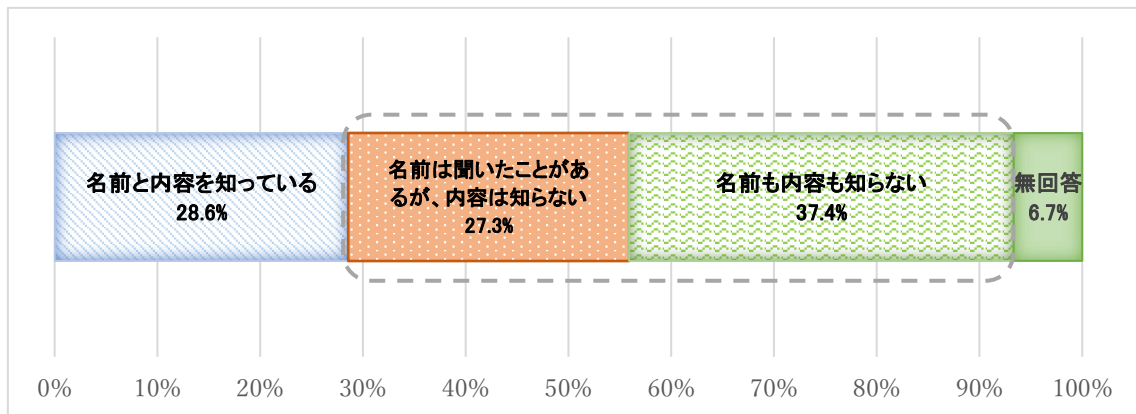
- ・場所は公共施設が最も多く、次いで店舗・飲食店が多い。
- ・内容は「必要な医療やサービスが受けられなかった」が最も多い。また、「その他」としては、からかいや陰口、習い事を断られたといった回答が複数見られる。

◆18歳以上 (n=643人)



- ・場所は学校・職場が最も多い。
- ・内容は「教育や業務の内容が異なる」が最も多い。また、「その他」としては、ジロジロ見られた、笑われたなど態度によるものが多い。

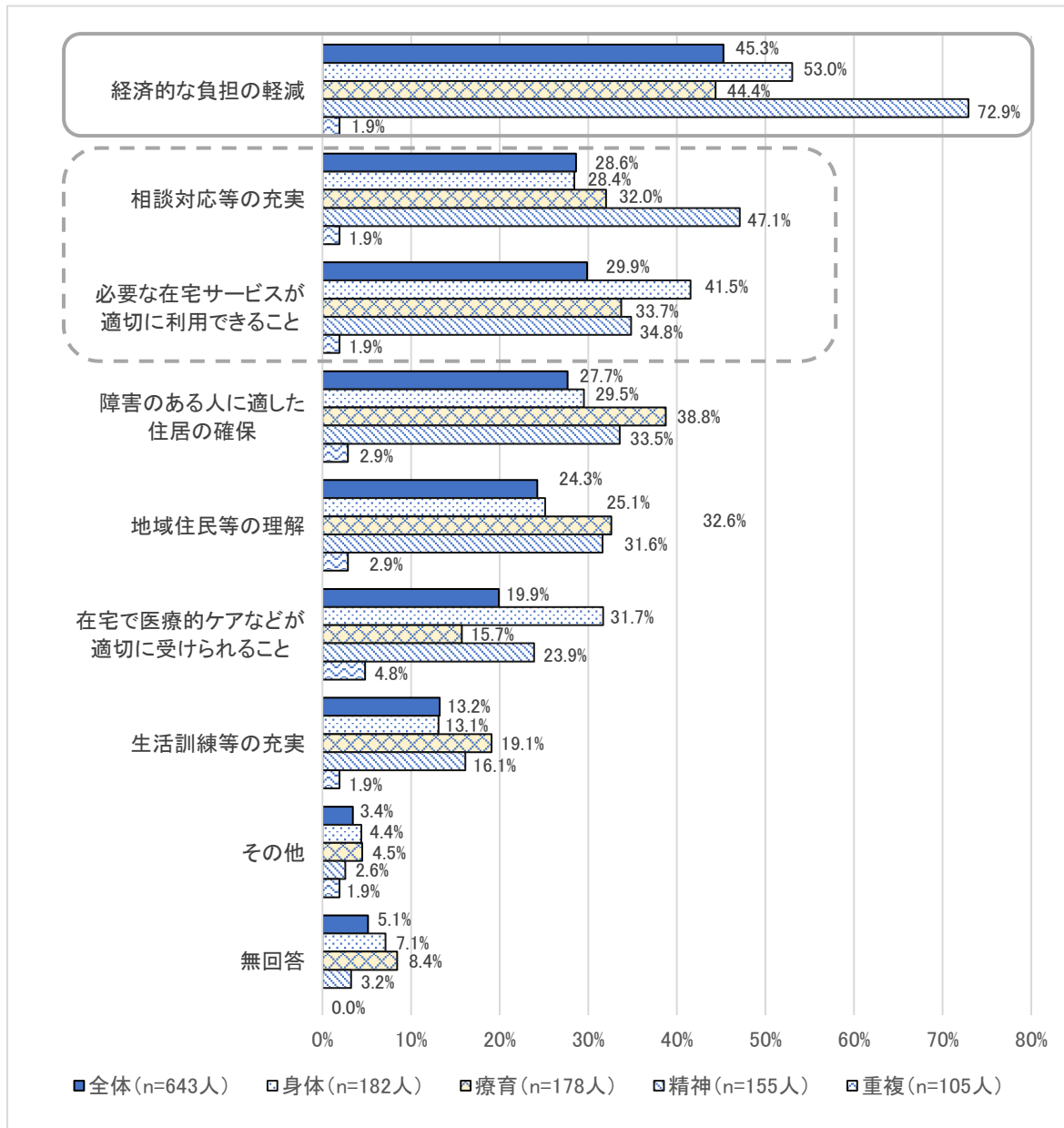
【成年後見制度について】 ◆18歳以上 (n=643人)



- ・「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」「名前も内容も知らない」の合算値は64.7%である。

【地域で生活するために必要な支援は何か】

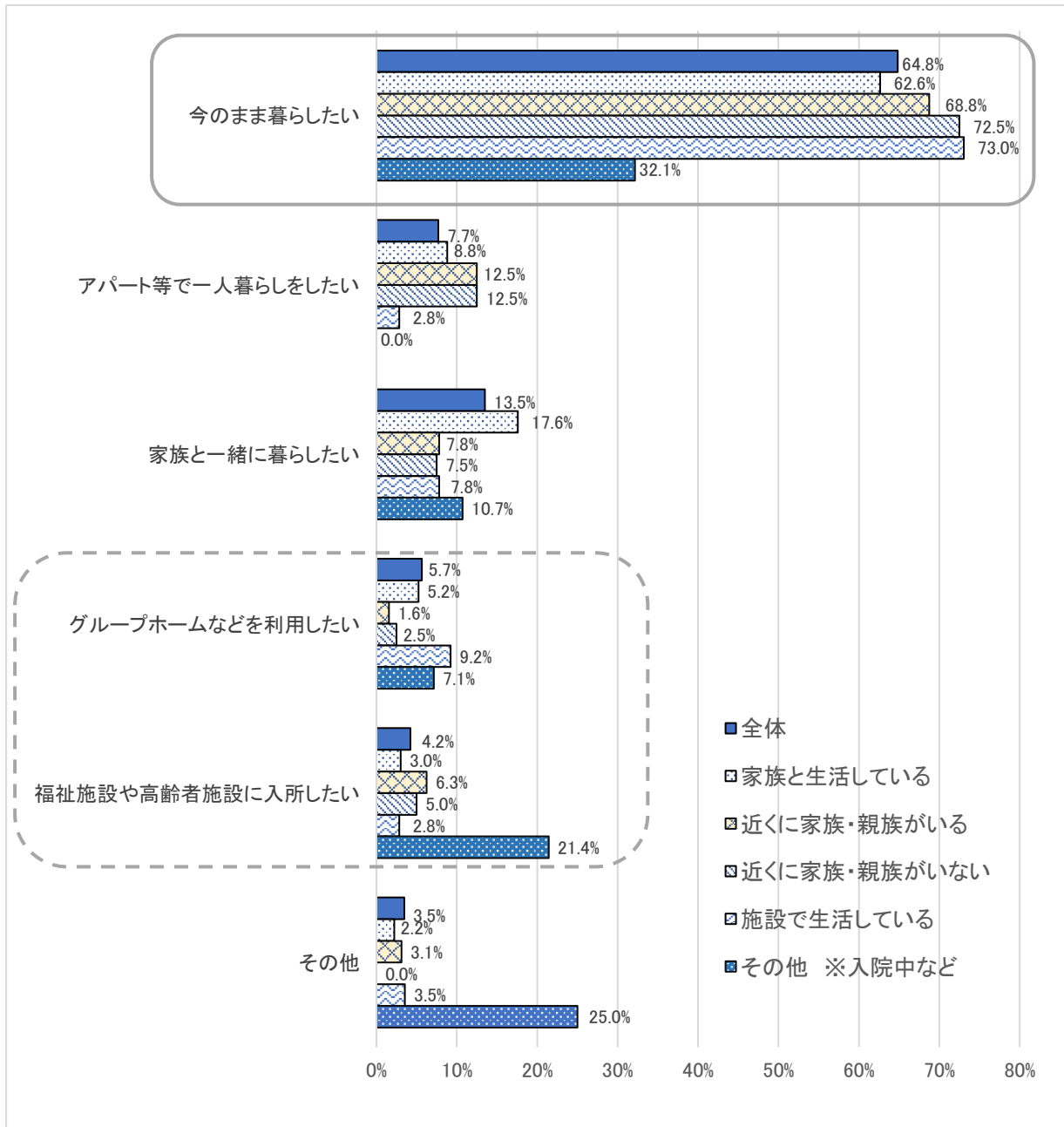
◆18歳以上（n=643人 うち手帳の所持について無回答23人）



- ・全体としては「経済的負担の軽減」が最も多く、「相談対応の充実」や「必要なサービスが適切に利用できること」がこれに続いた。
- ・身体障害者手帳所持者では、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」と「在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること」の割合が、他の手帳保持者に比べて高い。
- ・療育手帳所持者では、「障害のある人に適した住居の確保」や「地域住民の理解度」、「生活訓練等の充実」割合が、他の手帳保持者に比べて高い。
- ・精神障害者保健福祉手帳所持者では、「経済的負担の軽減」と「相談対応等の充実」を選択した割合が特に高い。

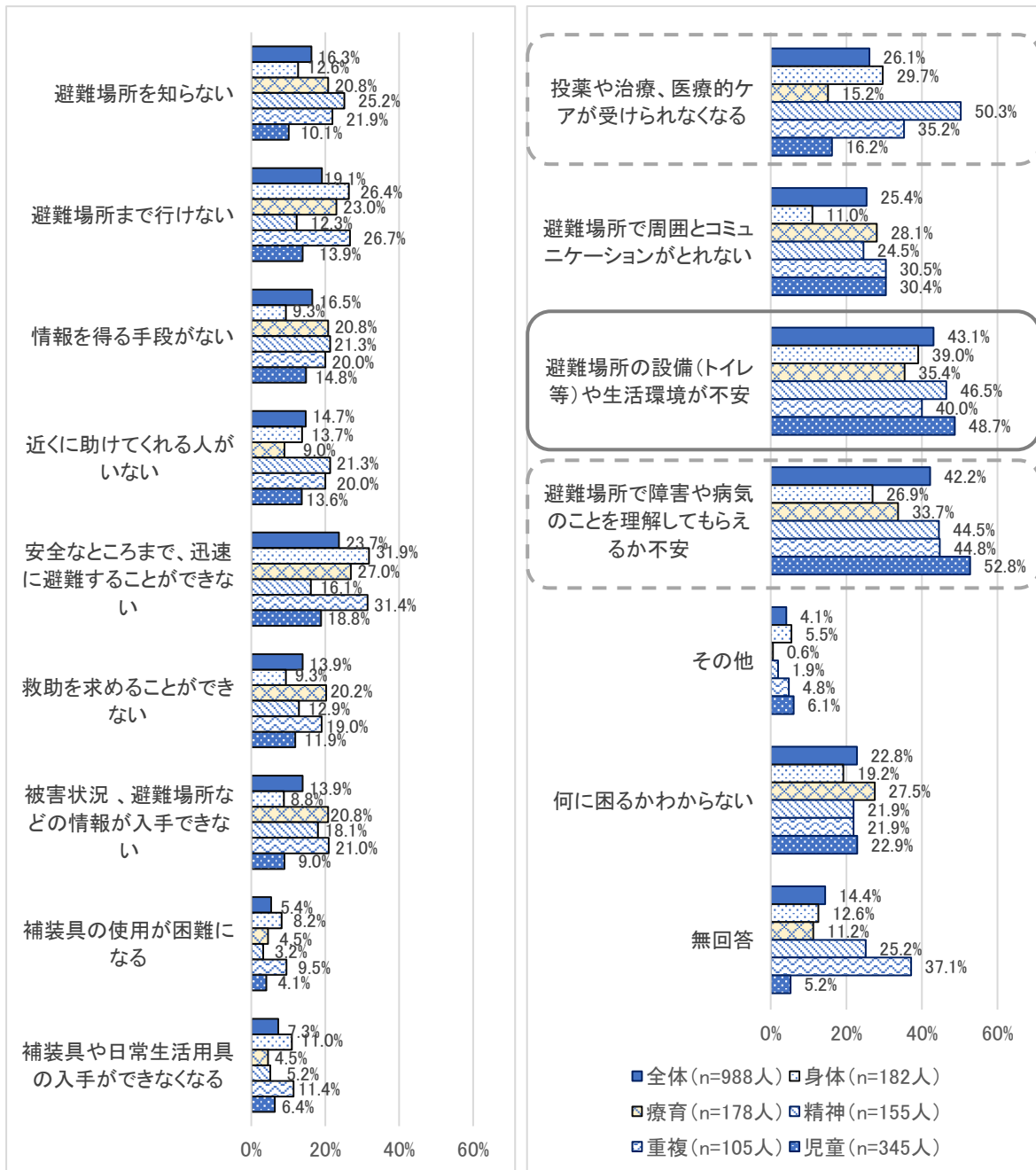
【今後どのように暮らしたいか】

◆18歳以上（n=643人・生活実態別）



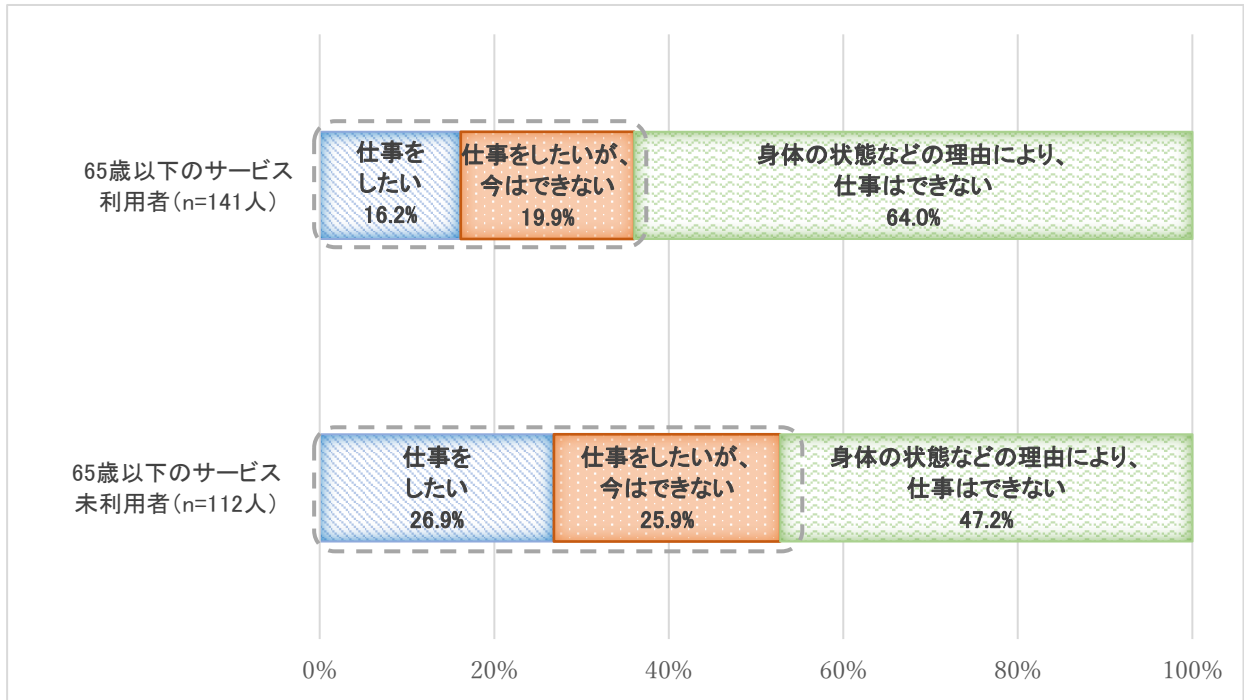
- どの生活実態においても「今のまま暮らしたい」が最も割合が高い。
- 「グループホームなどを利用したい」「福祉施設や高齢者施設に入所したい」は、全体の合算値で9.9%である。

【災害時に困ること】 (n=988人 うち手帳の所持について無回答23人)



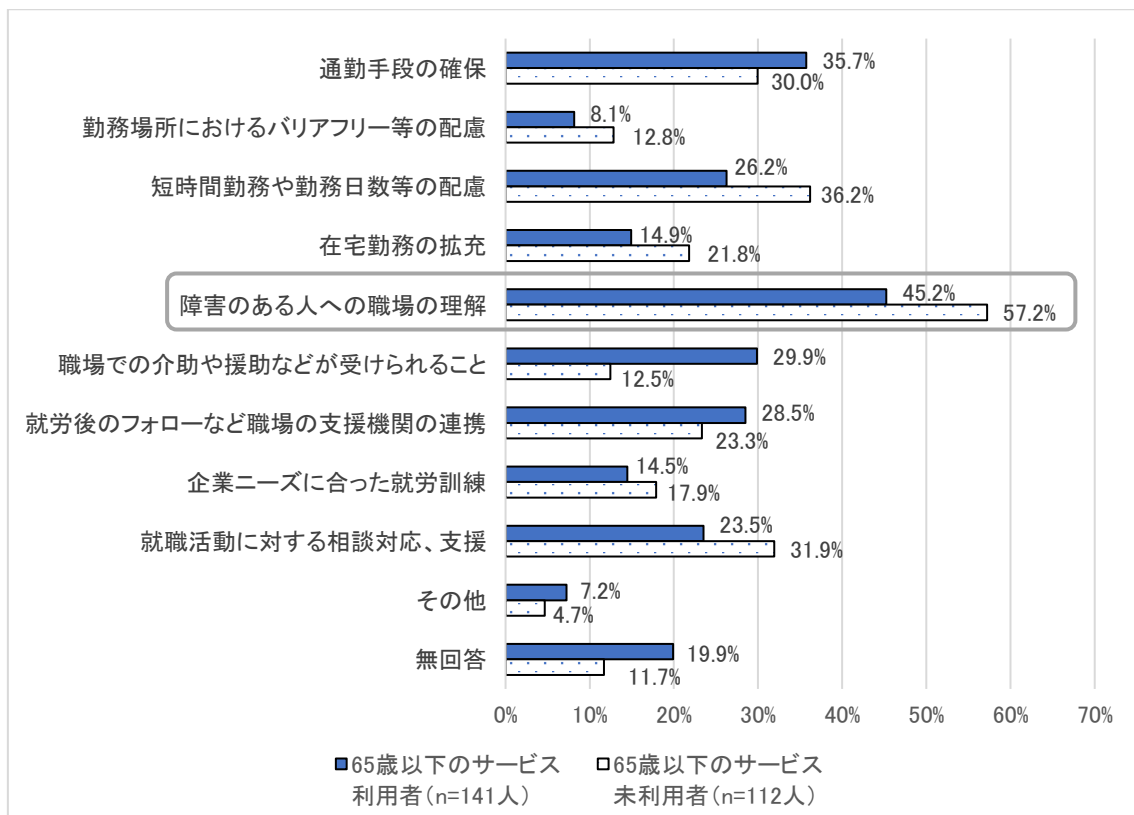
- 全体としては「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が最も多く、「避難場所で障害や病気のことを理解してもらえないか不安」がこれに続いた。
- 精神障害者手帳所持者では、「投薬や治療、医療的ケアが受けられなくなる」との回答が半数を超えている。
- 障害児では、「避難場所で障害や病気のことを理解してもらえないか不安」との回答が半数を超えている。

【今後収入を得る仕事をしたいか】



- ・「仕事をしたい」、「仕事をしたいが、今はできない」の合算値は65歳以下のサービス利用者で36.1%、65歳以下のサービス未利用者で52.8%である。

【就労するために必要な支援は何か】



- ・65歳以下のサービス利用者、65歳以下のサービス未利用者ともに「障害のある人への職場の理解」が最も多かった。